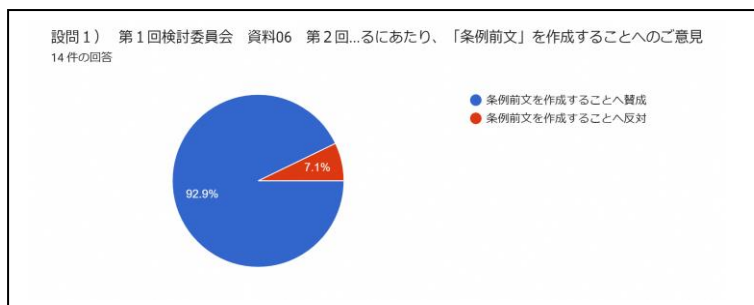


日野市いじめ防止対策推進条例策定に向けての委員アンケート結果について

1. 回答者数 14 件

2. いじめ防止対策推進条例を策定するにあたり、「条例前文」を作成することへのご意見



3. 上記 2. の理由

賛成/反対	理由
前文作成に賛成	条例の主旨を明確にし、市民等に分かりやすく伝えることができる。
前文作成に賛成	市として進むべき理念を明確にすることで、条文には書ききれなかったことが起きた場合の道しるべなると考えるため。
前文作成に賛成	「日野市いじめ防止基本方針」の基にもなっている「日野市子ども条例」では、条例を制定する背景・思いを前文に記載しています。 市民（子ども含む）には、条例のような法令はとっつきにくい、と言われがちです。 それが作られた理由が最初に記載されていることで、条例が社会をよりよいものに変えていく力になるものであると、市民に伝わっていくことを期待します。
前文作成に賛成	多くの自治体で行っており、全市民でいじめを撲滅する意識を高めるために必要なため。
前文作成に賛成	前文を読むことで、条例の基本的な考え方がわかって、本文に入っていく方が理解しやすいと思われます。前文読むことで、全文の内容がある程度把握できた方がよいと思います。
前文作成に賛成	日野市が何のために条例を制定するかがはっきりするため。
前文作成に賛成	全文があってもよいという程度で、特に理由はありません。
前文作成に賛成	いじめ防止条例を作成している他の市の条例を読むと、大抵の場合は「この条例を作成した理由、意味」といった形で市の意向が示されており、条例の必要性や意義が強くアピールされています。特にこの条例を調べよう、見てみようと思った市民の方々にとって最初に目にする部分になりますので、この部分でこの条例がどうい

	った意味を持つのか、日野市としての意向や意思を示すためにも作成した方が好ましいと思いました。
前文作成に賛成	いじめは子どもの人権にかかわる重要な問題であり、認知件数が増加するなか一層の対策を推進するにあたり条例を制定するのであれば、条例の制定の理念を強調して宣明した方がよいと考えます。
前文作成に賛成	全文は「誓い」のようなものであるととらえています。 市民に対する約束事として、一番伝えメッセージを載せるとよいのではと思います。
前文作成に賛成	何のための条例なのか、大人がすべきこと、子どもが安心して生活できる日野市にする思いをはじめに掲げ、それを大人も子どもも共有し、いじめについて共通理解ができるものがあつたほうが良いかと思い、選びました。
前文作成に賛成	前文はその条例の理念や制定の理由を述べるものであると理解しています。日野市は、子どもたちの健やかな成長を願い、切れ目なく支援するために「日野市子ども条例」や「日野市いじめ防止基本方針」など、条例や様々な方針等が策定されている。そのような中、あらためて「いじめ」のない、安心・安全に日常生活が送れる場をつくるための市の思い、理念を伝えるべきと思う。
前文作成に反対	いじめ防止対策推進法や東京都いじめ防止対策推進条例にも前文は付けられておらず、「第1条（目的）」から始まっています。これまでの「方針」との区分けを明確化するためにも、情緒的な文面になる可能性のある前文は省いてよいのではないかとというのが理由です。また、「児童生徒から届いている声」は今現在のものであり、今後、社会的ないじめに対する見方・考え方の変化やいじめ防止対策推進法の改訂等があつた場合、その声も時代に即して変わってくる可能性があります。条例なので、できる限り端的にすっきりと書けるのが望ましいのではないかと思います。理念や思いは周知の段階で伝えることも可能であると考えます。

4. いじめ防止対策推進条例の前文の要素について

項目	賛成	他意見
①社会全体の責務に関すること	前文賛成者 全員一致	
②関わる方々（市、学校、公的機関等）の責務に関すること	前文賛成者 全員一致	
③子供の思い、望んでいること ※第1回子供たちのアンケートから	前文賛成者 全員一致	<ul style="list-style-type: none"> ・私立小学生中学生、高校生も含まれることを望む ・「子どもはかけがえのない存在」「子どもの人権の侵害は許されない」「子どもの成長のための環境を作る」「いじめは許さない」が他市の流れであること。 ・「家庭」の要素を入れるかは、日野市子ども条例の全文において家庭との関わりが記載されていること、いじめ防止条例は主に学校と子どもの関係に焦点があてられる条例になるかと考える。仮に入れる場合、いじめ防止に向けて子ども・学校・市、

		<p>そして家庭で連携する意思表示になると考える。日野市としての色を強くしたいということであれば、日野市が掲げている「すべてのいのちがよろこびあふれる今と未来をつくっていく力」を入れると良いのかもしれない。</p> <p>・「日野市子ども条例」また既存の「日野市いじめ防止基本方針」のはじめにに記載がある。</p>
--	--	---

5. その他ご意見等

主な意見抜粋
いじめ防止の対策を推進する、からもう少し踏み込んだ、社会の相互理解と寛容を推進するものにしたいです。
関係機関における個人情報の適切な共有方法について明確にしていきたい。【いじめと思われる事案を把握した場合に学校にお知らせする義務があるが、本人同意が取れない場合にどうするかという問題 ※子どもなんでも相談、教育指導課においては解決済であるが、その他の機関は整理が必要】
<p>次のところを明確にするとよいと思っています。</p> <p>法第 14 条第一項の連絡協議会の設置</p> <p>法第 14 条第三項の教育委員会の附属機関の設置と重大事態の調査を行うことについて</p> <p>法第 30 条の市長の附属機関の設置（総合会議ではなく）と重大事態の調査の結果について再調査を行うことについて</p>
<p>第 1 回目の委員会の中で「子どもの意見で今と未来をつくっていく」という発言がとても印象的でした。</p> <p>条例を作ることは決意表明であり、とても意義のあることと思います。</p> <p>しかしながら、条例を作っただけでは状況は変わりません。</p> <p>条例を作り広げる過程でどれだけの人に関われるか、どれだけ思いが伝えられるかが大切だと思います。</p> <p>子どもを取り巻く環境について現状を知り、寄り添い、一緒に考えていく。そしてその姿を子ども達や大人たちに見せていくことで、いじめのこと子どものこと学校のこと地域のことを真剣に考える大人が増えていくと思います。</p> <p>条例を通して子どもについて理解が深まり、少しずつ過ごしやすい社会になることを望んでいます。どうぞよろしくお願いいたします。</p>